

2025 11 月号

2025 年 11 月 15 日発行

発行元 認定NPO法人陽だまり
発行元住所 〒739-0025
東広島市西条中央 7-17-35-101
電話 082-422-4115
<https://www.npo-hidamari.or.jp>

- ◇ こどもくらぶ移転について
- ◇ 陽だまりクラブ / こどもくらぶ
- ◇ コミュニティカフェ fun fan 陽だまり
- ◇ 事務局日より

こどもくらぶ移転先が決定！

老朽化したこどもくらぶの移転先が、西条中央3丁目 24-27 TKビル 2F に決まりました。
内装の設計も、建築士・研究者・学生・スタッフからなるチームでミーティングを重ねて作り上げました。
「誰もが自分らしく輝ける居場所を地域にたくさんつくりたい」。今回の移転を 10 年後につながるステップとして、専門家と一緒に取り組みます。前号に続き、報告の第 2 弾です。

こどもワークショップ

スタッフ・子ども・保護者の希望を設計に落とし込むために、前回のワークショップでは建築計画の研究者である石垣先生主導のもと、一級建築士の鍵山さん・スタッフ・大学院生が参加して、新しい場所をどんな空間にしたいか、何をやってみたいかなどを語り合いました。今度は子どもたちの番です。7 月 28 日と 31 日に「子どもワークショップ」を行い、子どもたちに好きな場所、使いにくいところ、好きな遊び、新しい場所でやりたいことなどを聞き取りました。その結果、一番人気



の場所はロッカーの上！次は会議室。想定していた意見の他に、「トイレを増やして欲しい」「一人でゆっくりできる場所が欲しい」などの切実な思いも分かりました。

視察

9 月 18, 19 日、石垣先生、鍵山さん、大学院生 2 人と共に、こどもくらぶスタッフの山口・入矢が京都の民間学童 4 施設に視察に行ってきました。どの施設の方も、学童保育と子どもの育ちに情熱と愛情を持って運営されていて、その姿にとっても感動し、大きな刺激を受けました。施設を見学させてもらい、子どもたちが使いやすく片づけやすい設計や工夫、空間づくりなどはとても参考になり



子どもたちにも片付けやすい収納

ました。また、遊び心や子どものや



視察で見た工夫の一例

りたい！を刺激するような仕掛けもあり、その点でも移転先でぜひ取り入れたいと思いました。

クラウドファンディング

建築資材や人件費が高騰している昨今。今回の移転にもその影響を感じずにはられません。そこで、建築費用の一部を賄うためと、「陽だまりのこれからの活動を広く知ってもらいたい！」との思いから、『コミュニティカフェ fun fan 陽だまり』立ち上げから約 4 年ぶりにクラウドファンディングに挑戦することにしました！子どもたちが生き生きと過ごせる場になることはもちろんですが、保護者同士の交流の場や地域の人が立ち寄りたくなるような学びの場・趣味の場として、みんなの拠り所となる場所を目指しています！みなさまの応援よろしくお願いいたします。

子どもたちの希望やスタッフの要望を取り入れたワクワクするようなアイデアと発想に、出来上がりが楽しみでなりません。移転は来年 3 月を目指しています。進捗状況は随時、報告します。

(報告：山口百合)

陽だまりクラブ

☀ 手から伝える ☀

活動者：森川 隆 さん (50 代)



活動の産声は利用者さんからの「困った！」です。その声をコンピューターの AI さんにも負けない、コーディネーターの NI さんが互いの条件とニーズに合わせて利用者さんと活動者をマッチングします。活動者は利用者さんの要望がカタチになるように努めます。現在の暮らしのサイズに合うように心を配ります。言わばそれはオーダーメイドです。手から生まれる手仕事です。熟練技や専門知識を用いるプロの職人には及びません。しかし、利用者さんのお役に立とうとするその気立ての良さを、暮らしをほんのりデザインする陽だまり職人さんと呼びたいです。身の回りは既製品で溢れます。暮らしの中に「あつらえ」があった時代は過ぎ去りました。それでもひとの手の温もりは失われません。手仕事の安心と喜びと希望があります。言葉は簡単に嘘をつきますが、手は口ほどに物を言います。正直です。手の中の陽だまり。つなぐ手と手が輪になって、百年先も陽だまりは巡っています。



新活動者紹介

①活動者になったきっかけ ②趣味・特技 ③一言

MH さん (70 代)

- ① つながるカフェに参加して、展示物を見て。
- ② なんでも面白がる事
- ③ 色々な出会いからたくさんの夢拾いができたらいいですね。

活動者募集！ 年齢・資格不問

～できる人ができる事をできる時に～

(活動費 600 円/時間)

電話：082-430-7007 (担当：西田・市川)

☀ わくわくつながるカフェ開催 ☀



9 月 27 日 (土)、有償ボランティアの仲間を増やすためのイベント『わくわくつながるカフェ』を、ゆめタウン東広島のフードコートで開催しました。このイベントは認定 NPO 法人陽だまり・東広島市ファミリーサポートセンター・里親サークル Nanja Monja とのコラボです。3 回目の今回は午前午後の 2 部構成で、各団体の活動内容をパネル展示や発表形式で紹介しました。陽だまりクラブの活動を多くの方に知ってもらい、一緒に活動してくれる仲間が増えて行くように、今後も定期的に開催していきます。次回は 2026 年 2 月 10 日 (火) です。(報告：西田恵里香)

放課後こどもくらぶ



☀ 陽だまりバンザイ ☀

保護者：福岡 宏 さん



夕方迎えに行くと、下の子が、ダンボールで作った大きな剣を持って誇らしげに現れました。鞘まで作って腰に下げています。上の子は、お友達と大きな模造紙に何やら熱心に書き込んでいます。自分たちの仮想的な王国の地図を作っているのだそうです。カラフルなプラバンを沢山もって現れることもありますし、公園での野球について熱く語ってくれる日もあります。陽だ



まりでの放課後を、子供たちは思い思いに楽しんでいるんだなあと、私もうれしくなります。子供たちの要望やわがままに、い

つも寄り添って暖かく見守ってくださるスタッフとボランティアの皆様、本当にありがとうございます。秋休みにはクッキングの日がありました。子供たちで相談して決めた料理を作ってお昼ご飯にするのだそうです。うまくできたかなと思いながら、お迎えのドアを開けると、ほんのりと残り香が。写真を見せて頂き大成功

だった様子もよくわかりました。ちょっぴり得意げな子供たちの顔を見て、ここには子供たちが安心して過ごせる世界があるんだなあと思いました。陽だまりは子供たちのもう一つのお家なんですね。これからもうぞ子供たちをよろしくお願いします！

🌻 こどもの「やりたい」をカタチに 🌻

こどもくらぶでは、子どもの「やりたい！」「やってみたい！」の気持ちを大切にイベント企画に取り組んでいます。今年の秋休みは1日目にクッキング、2日目には遠足へ行きました。事前に子どもたちと話し合い、クッキングでは「バイキング」に挑戦！「たこ焼き・サンドイッチ・パスタ・ポテト・パンケーキ・フルーツ・ゼリー」と子どもたちの食べたいもの盛りだくさん！さてさて、どうすれば実現できるか・・・スタッフも初の試みでドキドキ！しかし「案ずるより産むが易し」。6年生がメンバーを見ながら班分けを考え、1年生にも「これ混ぜる？」

「ここまで包丁をいれたらちょうどいいよ」など優しく声をかけたり、一人当たりのグラムの目安をササッと計算してくれるなど大活躍！



子どもの「やりたい」の気持ちがカタチになり大成功でした！

(報告：山口百合)

コミュニティ fun fan 陽だまり



ほさかつら
スタッフ：保坂 桂

fun fan 陽だまりで子育て支援員として勤務を始めて一年半が過ぎました。私は最初利用者と、fun fanは困った時の頼みの綱のような居場所でした。我が家の3人の子どもたちをいつも温かく受け入れてくれる存在は貴重で、有難い場所でした。煮詰まってしまった時は転がるように、3人を連れて家を出ていた事を今でもよく思い出します。そんな温かい居場所のスタッフとして働くことにプレッシャーを感じることもありました。何より、決して器用とは言えない自分自身、子育てとの両立は簡単ではありませんでしたが、働き始め

て感じていることは、沢山のパワーを利用者さんや子どもたちから頂いている！ということです。fun fanを訪れてくれる、ママやパパや子どもたちの笑顔。一時預かりのお迎えの時の親子の再会の時間。涙のすぐ後にスタッフに小さな手を振ってくれたり・・・ここで出会う親子さんにいつも元気をもらっています。私も学校や幼稚園では変わらず保護者としての立場です。長男は学校に行くことにしんどさを抱えていたりもするので、色んな方に支えてもらっています。自分が子育てで悩んだりストレスを抱え込んでしまったりしている時は、私が子育て支援者をしていて良いのだろうかと思う時があります。ですが、県や市の研修で学ぶなかで、支援する側、支援される側を行ったり来たりする、私だからこそ感じられること、できることもあるのではないかと考えるようになりました。子育ては答えのない問いの繰り返し。子どもも一人ひとり違い、親も一人ひとり違います。決まったゴール、正解なんてないと思います。でも正解がないからこそ、面白い！千差万別のフリースタイルの格闘技みたい！と思うこともあります。一人で孤独に煮詰まってしまうとなかなかその面白さに気づけません。私は色んな方に関わってもらった中で、子育ての面白さに、気づいていったように思うのです。自分にとって悩みだったことが、話してみると子どもの個性が光るエピソードだったり・・・そして気づけば悩んでいたはずなのに笑い話になっていたり・・・「まあいっか」と思えたり。



人間は“人の間”と書きますが、色んな人に関わってもらった中で、親も子育ての面白さに気づいていくのではないのでしょうか。私にとって fun fan は、以前も現在も、様々な沢山の素敵な方に出会える“場”です。これからも私自身が色んな方に関わってもらって来たように、一人ひとりの利用者さんとの出会いを大切に真摯に向き合い、スタッフとして務めていきたいと思っています。



🌻 キッズマルシェ～縁日～ 🌻

fun fan 陽だまりでは、積水ハウスマッチングプログラムの助成を受けて各種イベントを開催しています。

その一つとして、小学生の体験格差解消を目指そうと、小学生が主役のキッズマルシェを 8 月に開催しました。テーマは「縁日」で、企画から当日の販売まで子ども主体で行い、大人たちは影から見守るサポート役。



参加した小学生 6 名は手作りのキーホルダー、コースター、射的など気持ちのこもった物を出品していました。緊張しながら

お客様の対応をしたり、小さな子ども達に案内をしたり、一生懸命頑張っていました。終わった後の振り返りの会では、「商品売るの大変だと思ったし、お金の大切さを学んだ」「緊張したけど、楽しくできてよかった」などの感想がありました。

今回は 12 月 13 日(土)11 時～14 時「クリスマスキッズマルシェ」をゆめタウン東広島 4F フードコートで開催します。ぜひ、みなさんいらしてくださいね。

(報告：森川愛子)



🌟 ハロウィンパレード 🌟



10 月 26 日(日)、fun fan 陽だまり×ゆめタウン東広島×セイハ英語学院と協働でハロウィンパレードを開催しました。総勢 113 名の親子の参加があり、ゆめタウン館内の色んなお店を回って「トリックオアトリート!」と言ってお菓子をもらい、ゴールのフードコートでみんなで手遊びをして楽しみました。



参加した親子さんからは、「色んなお店を知れてよかった。また来年も参加したい」「緊張したけど、楽しかった。お店の人にお菓子ちょうだいって言えた!」など、嬉しい声がたくさんでした。fun fan では、ゆめタウンに入っているテナントさんとの協働イベントも行っています。皆さんの参加をお待ちしています。

(報告：森川愛子)



事務局だより



学生さんのフィールドワーク

10 月から広島国際大学東広島キャンパスで社会福祉士を目指す学生を対象に「地域がキャンパス」というテーマのもと、8 名の学生の受け入れをしています。1 月までの計 10 回、「陽だまりクラブ」「fun fan 陽だまり」「放課後こどもくらぶ」の現場に入り体験してもらいます。この活動を通して学生さんの学びの場、今後への糧となれば幸いです。

福祉有償運送運転者講習会

10 月 5 日(日)と 11(土)に移動サービスの担い手を養成する「福祉有償運送運転者講習会」を開催しました。この講習を広島県内で実施している機関が少ないため、広島市、廿日市市、庄原市、海田町、三原市、大崎上島町などから 16 人の受講がありました。今回も、**トヨタカローラ広島様と介護レンタカーまる様から、それぞれ福祉車両 1 台を無償でお借りしました。**当法人の講習会が安価で開催できるのも、こうした企業様のご支援があってこそです。本当にありがとうございました。



草刈り機使用料のお知らせ

11 月より、「陽だまりクラブ」の草刈り機を使用する場合は、400 円/時間の実費を徴収させていただきます。実費とは、刃・燃料・メンテナンスにかかる費用です。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

助成金・ご寄付

10 月までに 27 名の方から計 487,007 円、企業様から 1,000,000 円のご寄付と助成金をいただきました。このご寄付・助成金をご指定のあった事業や、陽だまりの運営に使わせていただきます。ありがとうございました。

